



日本SPF豚協会だより

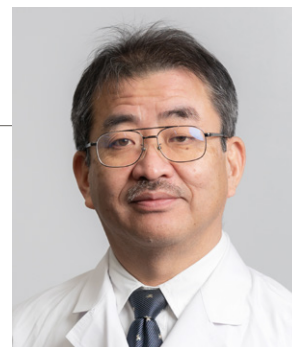
2022. 10
No.89

提 言

畜産分野の抗菌剤の慎重使用を考える

岐阜大学大学院連合獣医学研究科教授

浅井鉄夫



2014年「薬剤耐性菌をそのまま放置すれば、2050年には年間1000万人の人が薬剤耐性菌で死亡する」と英国のオニール・レポートで報告され、世界各国が薬剤耐性菌に対して強い危機意識を持ちました。2015年世界保健機構(WHO)に公表された薬剤耐性に関するグローバルアクションプランに基づき、各国が薬剤耐性菌対策に取り組んでいます。我が国でも、2016年に公表された「薬剤耐性(AMR)アクションプラン2016—2020」に基づき取り組まれています。その中で、畜産分野の数値目標はテトラサイクリン、第三世代セファロスポリン、フルオロキノロンに対する耐性率で設定していますが、使用量に対しては設定していません。人医療分野では、いくつかの薬剤に対する耐性率以外に、使用量の削減目標が設定されました。また、ヨーロッパの中で使用量の多かったオランダでは、家畜で使用する抗菌薬の使用量を減らすため段階的に目標を設定し、2019年に70%削減を達成しました。

薬剤耐性菌が増加する主な原因は抗菌薬を使用することです。そのため、抗菌薬の使用量を減らすことが世界的に最重要課題の一つとなっています。抗菌薬の使用を減らすには、法令や使用上の注意に基づく適正使用に加え、使用すべきか十分に検討し、使用する場合には薬剤耐性菌の選択を最小限に抑える「慎重使用」を徹底しなければなりません。2013年に農林水産省から「畜産物生産における動物用抗菌性物質製剤の慎重使用に関する基本的な考え方」が示されています。その中で、抗菌剤の使用機会を減らすには、「飼養衛生管理水準を向上させて、感染症の発生を予防することが重要」とされています。

国際獣疫事務局(OIE)の慎重使用のガイドラインでは、「飼養衛生管理の代わりに抗菌剤を使用して飼育動物の健康を維持すべきではない」といった内容の記述があります。抗菌薬は動物

の細菌病を治療する目的のみに使用する、ということを日常的に意識する必要があります。

「抗菌薬で治療したい病気は何ですか」、「その病気の原因は何ですか(原因菌)」、「その原因菌は使用抗菌薬に有効(感性)ですか」、「投与量は添付文書に記載される範囲内ですか」、「治療効果を何日目に判断しますか」。生産者の皆さんはこの5つの質問にいつでも答えられるようにしてください。わからない質問は管理獣医師から答えを聞いてください。全て答えられる場合は、自分の回答を獣医師に投げかけてください。抗菌薬のAbuse(乱用)とOveruse(過剰使用)は薬剤耐性菌の出現、増加、蔓延に拍車をかけます。適正な投与量や投与期間を設定する中で、自農場にふさわしい投薬方法が見つけれられるかもしれません。

2013年の薬剤耐性菌による死亡者は年間70万人、がんによる死亡者は820万人であることから、推測どおりであれば2050年には薬剤耐性菌による死亡者が近年のがんの死亡者を上回るようになります。そのような中で、2019年度の推計では127万人と国際的な医学雑誌に報告され、さらなる薬剤耐性菌対策が必要とされました。

抗菌薬は細菌感染症の治療に必要な薬品です。数多くの抗菌薬が畜産分野で利用されていますが、いくつかの系統の抗菌薬は医療分野でも重要な抗菌薬として位置づけられます。たとえば、フルオロキノロン(ニューキノロン)、第三世代セファロスポリン、グリコペプチド(コリスチン)などは、第2次選択薬として使用することとされています。

生産現場、と畜、食肉加工の各段階で常に抗菌薬の慎重な使用と薬剤耐性菌を制御することを意識し、薬剤耐性菌が畜産物を介して家庭に運ばれることを防がなければなりません。

セミナーは今年度も 来年1月下旬に開催

—協会事業の推進について ピラミッド会議で協議—

今年度の協会事業計画に基づき、ピラミッド会議を開催し、
事業推進について協議いたしました。その内容についてご報告いたします。

ピラミッド会議における協議内容

9月1日、協会事務所において、Web会議を併用したピラミッド会議を開催いたしました。協議内容を各ピラミッドで検討し、意見を取りまとめ、11月に再度ピラミッド会議を開催し協議することとしました。

●セミナーの開催について

昨年度同様、1月下旬に開催することとし、準備を進めることになりました。前回は実参加とオンライン参加併用を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、会場は関係者のみとしたオンライン開催に変更しました。今回も状況次第ですが、会場参加40名程度、オンライン参加を100名程度とするハイブリッド方式での開催を予定しております。恒例の2021年度CM農場生産成績年次報告、2022年度優秀CM農場表彰のほか、講演を2題考えております。内容について協議し、講師候補を絞って依頼、準備を進めていくこととしました。またセミナー終了後、協会ホームページで動画配信できるよう、関係者と協議いたします。

詳細については次号の協会だよりやホームページ、メール配信等でご案内いたします。

優秀CM農場の表彰については、年内に選考委員会を開催し、表彰方法含めピラミッドと検討します。

●協会事業の将来像について

①SPF養豚が新たに目指すべき方向性について、②SPF豚農場認定制度について、③SPF豚協会の組織と運営について、の3つをテーマに、役員会で作成した素案について検

討しました。概要は次の通りです。

1.SPF養豚が新たに目指すべき方向性について →2040年に目指すSPF養豚

SPF(Specific Pathogen Free、特定病原体不在)養豚は、疾病を排除し農場防疫を重視することにより、養豚の生産性向上に大きく貢献した。

しかし、21世紀に入り持続可能な社会の実現がトレンドとなった。「持続可能な社会の実現」から見ると、現代の畜産は多くの問題点を抱えている。①穀物や水を人間と競合する、②大量の糞尿や温室効果ガスを排泄して環境に負荷をかける、③伝染病による損害や抗菌性薬剤の使用など。さらに、消費者の価値観の多様化は畜産のあり方への課題を提起している。アニマル・ウェルフェアへの関心の高まりや、そもそも畜産物を食べない人の増加(ビーガン、ベジタリアン、フレキシタリアン)、植物たんぱく由来の「代替肉」市場規模も拡大傾向にある。

リアル肉は代替肉と比較すると、生産効率や環境への負荷の点でどうしても太刀打ちできない。本物の肉の食味を消費者に訴求できることが唯一の優位点となる。

したがって、今後も畜産豚肉が存続するためのキーポイントは、「できるだけ飼料を人と競合せず」「できるだけ環境に負荷をかけず」「できるだけ家畜を大切に」「できるだけ生産性を向上させ」「代替肉よりも明らかに美味しい」「良質な動物性たんぱく質を供給する」である。

これからのSPF養豚は、従来の生産性向上を中心とした考え方から持続可能な養豚経営を目指すSPF(Sustainable Pig production Farm)に発展させ、広く

社会の要請に応える取組みを重視する方針が必要と考える。

2. SPF豚農場認定制度について

協会創立後半世紀の間で、当初の使命は果たせたのではないか、だとすれば今後新たな検討が必要となる。

- ・ 飼養頭数、認定農場数は頭打ち（ただし8万頭、180～190戸は維持できている点は評価に値するのでは）
- ・ 認定農場間で認定制度の必要性に差が出てきている。
- ・ 防疫面では効果を感じている会員は多い。
- ・ 金銭面での付加価値が見出せていない（認定をアピールし有利販売を展開、認定制度維持を希望している農場もある）。
- ・ 2011年スタートした農場HACCP認証制度がこの3年間で大幅に普及した。
- ・ 豚熱発生を契機に飼養衛生管理基準の改正及び運用が厳格化

今後について（2030年に向けて）

直面する課題に対し、出来ることから解決していく姿勢が大切ではないか。認定制度についてもGGP・GP農場は現状制度を維持するとしても、CM農場についてはヘルスチェックはじめ見直しを検討してはどうか。

また、申請のデジタル化を進め、申請者・事務局双方の負担軽減となるシステムを構築するための投資もすべきである。農場、協会双方にとって持続可能な認定制度のあり方を検討する必要がある。

3. SPF豚協会の組織と運営について

- ・ 今後の協会の進むべき方向性を「拡大」「維持」「縮小」に分け具体策を議論

拡大

認定農場の門戸を広げる制度改革、ピラミッド数の新規参入を促進し、国内の養豚生産基盤におけるさらなるシェア拡大を図り市場での影響力強化を目指す。

維持

現行制度を堅持し、認定規則を随時見直し、時代の要求を取り入れ、認定農場数の安定的に継承する。

縮小

新たな視点で協会の事業活動を認証に絞って存続を目指す。GGP・GP農場認定を中心事業とし、CM農場の認定基準厳格化、実験豚生産農場認定等を検討する。

- ・ 協会運営の見直し

組織基盤が縮小した場合を想定し、事務局固定費の削減、組織や会議の開催方法など運営体制の見直しを進める。外部業務委託や事務処理のDX化を進め、スリム化を図る。

● 抗生剤を使わない養豚のあり方について

欧州を中心に畜産の抗生剤使用規制は年々厳しくなる中で、とくに使用量が他の畜種に比べて多い養豚がターゲットになっています。協会は他より一歩先んじてはきましたが、今後SPF養豚が生き残るために認定農場の取り組み事例や実態について情報を整理し、共有財産として外部への公表、学会等での発表を目指します。

● と場ヘルスチェック（HC）について

豚熱や新型コロナウイルス感染拡大でと場への立ち入りが制限され、ARやマイコプラズマ肺炎のHCが困難な状況も出てきました。また、検査方法手法や対象疾病そのもの見直しなどの将来課題も出てきています。今後日本SPF豚研究会との共同研究として、こうした課題を検討することになりました。

● 成績低迷農場の改善策について

認定委員会の効率化を図り、事前に認定申請資料から成績低迷農場をピックアップ、認定委員会で重点的に対策を検討することで成績向上を図る形を、2022年3月期認定委員会で試行、6月期から実施しています。

● ワクチンの費用対効果の現状調査、具体策について

年々新たなワクチンが市場に投入され、認定農場でも抗菌剤のA薬品費よりワクチン類のB薬品費ウエイトが大きくなる傾向にあります。過去に認定資料をもとに調査を行いSPF豚研究会で報告しましたが、費用対効果の調査には至っていません。今後、農場のデータ提供に対し情報還元できるよう取り組みます。

多くの農場で利用されている消石灰は水酸化カルシウム (Ca(OH)²) の通称です。動物用医薬品ではありませんが中水準消毒薬に分類されています。水分を含むと強アルカリになり、微生物のたんぱく質などを変性させて不活化します。しかし、微生物はpH感受性に違いがあり万能ではありません。

○ 消石灰の種類：①農業用や工業用消石灰は純度65～70%、平均粒径12μmですが、砂なども多く含むのでろ過しない溶液を噴霧するとノズルが詰まります。微細な粒子部分は飛散性が高く、散布用としては不適合です。

②防散消石灰は特殊処理をして飛散を抑えたもので散布用として有用です。

③ドロマイト石灰 (Ca・Mg(CO₃)₂ 粒径12μm以下) は炭酸マグネシウムと炭酸カルシウムの混合物で見た目は消石灰と区別ができません。水に溶解易く、金属を腐食させ難く、不純物も少なく、付着性が良いので動力噴霧にお勧めです。

④高純度消石灰 (純度95%以上、平均粒径10.3μm) も流通しています。

○ コスト：各消石灰0.2%溶液1Lの筆者の購入例では①0.06 ②0.07 ③0.11 ④0.64円です。

○ 湿度と水濡れ：消石灰は粉のままではpHを示しません。湿度75～95%の容器に10日間放置してもpHが上がらないことも確認されています^{*}。高pHにするには10%以上の水に濡れることが必要です。^{*}横関正直 臨床獣医 2019-8 53-54

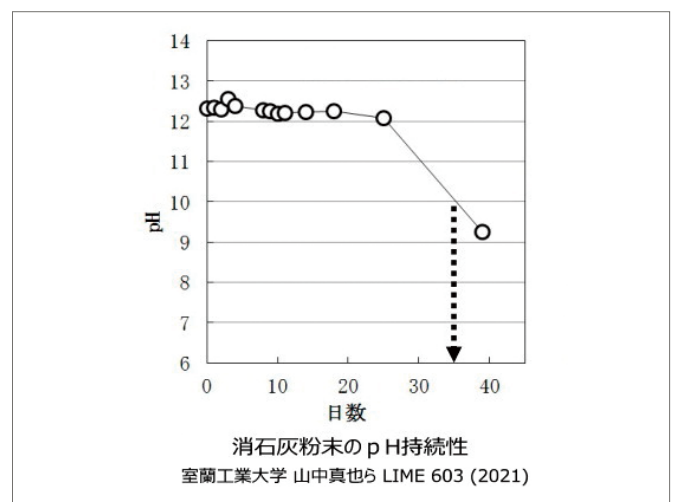
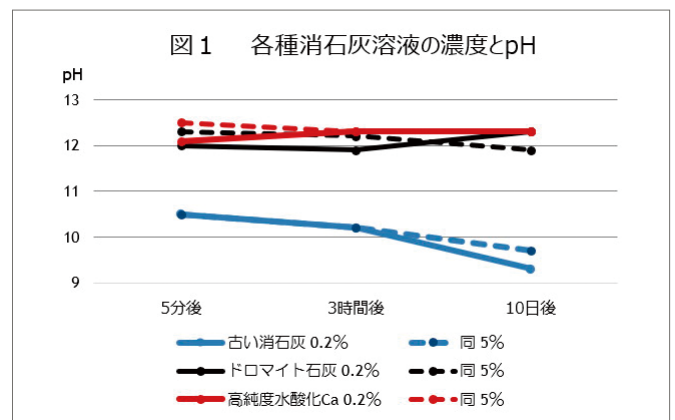
○ 溶解性：純粋な消石灰の飽和濃度は0.17%です。写真のように水に0.2%と5%溶解した3時間後ではドロマイト石灰水が最も濁って浮遊性が高く、噴霧作業に向いていることが分かります。

○ 溶液のpH：図1は溶液のpHを濃度別、経時的に調べたものです。開封後放置した古い消石灰は空気中のCO₂を吸収して炭酸カルシウム化しpHは上がりません。③④は0.2%も5%

と同様にpHは10日後も大差ないので、踏込消毒槽や噴霧に利用できます。

○ pH復活：一般の消毒薬は乾燥すると効果がなくなります。消石灰溶液は乾燥しても再度濡れるとpHが復活、つまり消毒効果が甦り待ち受け効果がある優れたものです。図2は1m²の箱に消石灰1kgを入れ、毎日水200ml (20%相当) を散布するとpH12以上は約25日間、pH10以上なら約35日間復活した実験結果です。なお、0.2%溶液の場合、乾燥すると再度濡れても高いpHは復活しないので、復活を期待する場面では約5%以上の溶液を使います。

○ DDAC系の逆性石けん液に消石灰を添加すると消毒効果が高まりますが、消石灰溶液のみの方が除菌率は高いことが確認されています (本稿82号図1の条件)。消石灰を上手に活用しましょう。



第11回

農場バイオセキュリティ強化のための最新情報



消石灰の活用

アニマル・バイオセキュリティ・コンサルティング(株)

三宅真佐男

TOPICS | プレジデント社発行、 食の雑誌『dancyu』 タイアップのご紹介

出版社プレジデント社が発行する食の雑誌『dancyu』をご存知ですか。創刊32年、「『知る』はおいしい。」をコンセプトに、独自の世界観で店やレシピ、食に関する知識などを提供、料理や食のプロからも高い支持を受けている雑誌です。WEBコンテンツも充実し、高いブランド力を持ちます。さまざまなイベントも主催しています。

また、雑誌のファンを中心に「dancyu食いしん坊倶楽部」を組織、そのメンバーは17,176人を数えます(2022年9月現在)。食に対する高い意識と産地への理解を持ち日本の食文化をより豊かにしていくために活動しているとのことです。

このたびプレジデント社メディア事業本部から、SPF

ポークに対し、雑誌誌面・WEBでのタイアップ記事の掲載、dancyu食いしん坊倶楽部の活動や、「dancyu祭」、東京駅に今年4月オープンした「dancyu食堂」などさまざまなイベントのご紹介がありました。

その内容は多岐にわたり、大小さまざま、多種多様です。こだわりのSPFポークをPRする媒体としては、かなり効果が期待できるのではないのでしょうか。

会員の方で興味をお持ちの方がおられましたら、詳しい資料を差し上げた上で担当者をご紹介させていただきます。協会事務局(03-5835-5375, j.spf.a@nifty.com)までご連絡ください。

▶ dancyu トピックス
dancyu

食イベント「dancyu祭2022」を開催！

2022年4月23～24日に、西新宿・住友三角ビルで開催。1万8,000人來場の飲食・物販イベントは大盛り上がり！！

「dancyu祭2022」は、2019年の春以来、3年ぶり8回目となる開催。和洋中印の名レストランを筆頭に、パン・スイーツの名店や、話題の食器店、そしてビールや日本酒の酒蔵など、食いしん坊待望の44店舗が勢揃い、食を楽しみ、共有する幸せに満ちた2日間となった。

出店一覧はこちら ⇒ https://dancyu.jp/spin/2022_00005552.html

※dancyu祭の他にも、食を楽しむイベントを開催予定。



東京駅に「dancyu食堂」が開店！

2022年4月27日、東京駅の「グランスタ八重北」に、dancyuが初めてプロデュースする食堂をオープン。

季節のおいしさや生産者の思いなどを大切にしながら、「毎日食べたくなるような“かつら”で働き者のおいしさ」を提供する食堂を目指す。生野菜も定食でお腹を満ちたり、焼売や小鉢をつまんで一杯呑んだり、昼も夜もお楽しみいただけます。

詳しくはこちら ⇒ https://dancyu.jp/read/2022_00005786.html

※貸切イベントや商品協賛などもご相談。協賛企画などは現在検討中。

(株) プレジデント社メディア事業部
WEBメディアガイド 2022年7～9月版より

▶ dancyu食いしん坊倶楽部 | 活動・イベント (一部抜粋)
dancyu

毎月1～2回、本誌編集運動を中心とした、メンバー限定のリアル/オンラインイベントを開催！

2019年

2019/07 オンラインイベント

2019/09 大人気の飲み会企画

2020年

2020/06 オンラインイベント「dancyu食いしん坊倶楽部2020」

2020/06 倶楽部メンバー大賞

2020/01 新刊雑誌「人食中巻」TO22」

2021年

2021/01 「ファミレスオンライン」(新生活の2021！)

2021/08 dancyu LIVE！キッチン 第6回「本誌ランチカレー料理」開催

2021/03 dancyu LIVE！キッチン 第1回「日本酒の夜」(ハイスコア賞)

2021/11 「肉山博覧会とつら、手打ちうどん」Supported by 日清製粉グループ

2022年

2022/04 dancyu 祭り開催 (トピックイベント)

2022/01 dancyu LIVE！キッチン 第10回「肉山博覧会」開催

その他のイベント詳細は下記ページでご覧いただけます。
<https://dancyu.jp/series/club/index.html>

▶ dancyuでできること
dancyu

**雑誌やWEB、会員組織、そしてイベント/店舗と、
様々な施策を連動させた立体プロモーションを実現**

dancyu (本誌/別冊/ムック)

純広・記事タイアップ



dancyu WEB

記事タイアップ



10.67 3.97 19.17
2497 2497 2497

イベント/ライブ配信

「dancyu 祭り」



流通とのコラボレーション



dancyu食いしん坊倶楽部

メンバー約15,000人*が属する会員組織

- メンバー限定イベント
- サンプリング/アンケート調査
- メニューレビュー情報、商品開発など

dancyu 食堂



*2022年6月現在

日本SPF豚研究会からのお知らせ

12月1日に研究会を開催します

日本SPF豚研究会は2022年度日本SPF豚研究会総会並びに第30回日本SPF豚研究会を以下の要領で開催いたします。

2019年以降研究会はコロナ禍により中止を余儀なくされ、実施は3年ぶりとなります。今回は、**事前申し込みによる集会とオンライン参加によるハイブリッド方式で開催されます**。詳細は会員の方には郵送でご案内しますが、会員以外の方は日本SPF豚研究会のホームページ (<https://jp-spf-swine.org/>) で10月初旬以降ご案内の予定です。

奮ってご参加ください。

- ・日時 2022年12月1日(木) 午後2時半～(約2時間)
- ・場所 KKRホテル東京(東京千代田区大手町1-4-1)
- ・開催方式 ハイブリッド(会場参加とzoomによるオンラ

イン聴講)

会場参加は50名程度、オンライン聴講は200名、**いずれも事前申し込みが必要となります**。研究会ホームページ(10月初旬以降アップ予定)をご覧ください。

<研究会プログラム>

①日本SPF豚協会年次報告

講師：日本SPF豚協会専務理事 藤田世秀先生

②豚の疾病と検査方法(仮題)

講師：(有)輝北ファーム社長 矢原芳博先生

③豚熱発生農場における検証と今後の方針(仮題)

講師：(株)サンエスブリーディング獣医師 榎並 紗先生

お問合せは info@jp-spf-swine.boj.jp 日本SPF豚研究会事務局まで

協会からのお知らせ

●今年もちくさんフードフェアは中止となりました

毎年10月に神奈川県川崎市で開催され、協会も出展していた「ちくさんフードフェア」(日本食肉流通センター主催)、今年も残念ながら中止となりました。

令和元年から昨年まで、台風や新型コロナウイルスの流行により中止となっておりました。日本食肉流通センターによれば、今年も現在センター敷地内で進めている新棟整備

計画に基づく既存施設(AB棟)の解体撤去工事の期間中であることから、十分なフェア会場を確保することができないほか、期間中の工事車両や重機の往来等の危険を考慮し中止に至ったとのこと。なお、毎回同時開催されている「川崎みなと祭り」は感染症対策を適切に講じながら開催される予定です(9月現在)。

●SPFポークに対する誤った表記にご注意ください。

ヤフーショッピング内のショッピングサイト、PayPay モールにおいて、銘柄豚肉に対し「無菌環境で生育されたSPF(無菌)豚です」、「SPF豚協会認定の指定工場で作られた安心、安全な豚しか名乗ることができないSPF豚は肉質が柔らかく、上品で豊かな味わいが自慢です」といった表

記をしている店舗があるとの連絡がありました。協会は、店舗とサイトに対して削除と訂正を求めました。ほかにもSPFポークを「無菌豚」と表記する事例もありました。もしこのような表現を見かけましたら、協会事務局までご連絡をお願いします。正しい理解と普及にご協力をお願いします。

プロのシェフおすすめ、カンタン、おいしいSPFポークレシピ



SPF豚のトンテキ ジンジャーソースかけ

●レシピ提供・**凧、凧 八幡山店** (東京都杉並区)

福山雄樹

異常気象の夏がようやく終わって、疲れが出やすい時期です。今回は疲労回復に効果のあるしょうがたっぷりのジンジャーソースを使ったトンテキを教えてくださいました。ジンジャーソースは少々手間がかかりますが、他の料理でも重宝しそうです。ぜひお試しください。

● **材料** ● (作りやすい量)

- SPF豚 肩ロース 約 200 g
- クレイジーソルト (なければ塩こしょうで) 5g
- 練り辛子 5g
- ブラックペッパー 2g
- オリーブオイル 10 g
- ジンジャーソース 50 g
- <ジンジャーソースの材料>
- 玉ねぎ 540 g
- にんにく 60 g
- 生姜 230 g
- リンゴ 300 g
- ザラメ 250 g
- 山わさびチューブ 50 g
- 濃口醤油 900 g
- 水 900 ml

● **つくり方** ●

ジンジャーソース

- ① ミキサーに玉ねぎ、にんにく、生姜、皮と芯を取ったリンゴ、水を入れて完全に形が無くなるまで回します。

- ② 鍋に①とザラメ、濃口醤油を入れて中火で加熱しザラメが溶けたら灰汁を綺麗に取りながら、なべ底が焦げないように混ぜ、3割ほどに煮詰めます。

- ③ 一度氷水で冷ましてから山わさびを混ぜて完成です。

トンテキ

- ① 肩ロースを肉厚にカットして、グローブ状に切り目を入れます。
- ② ①にしっかりクレイジーソルトをまぶします。
- ③ フライパンに油を少し入れて熱し、②を表7、裏3の割合で焼きます。
- ④ ③を取り出し、肉を焼いたフライパンでジンジャーソースを熱々に温めます。
- ⑤ 皿に盛り付けた③に、ジンジャーソースをかけ、オリーブオイル、ブラックペッパーをかけて完成です。お好みで練りからしをつけてください。

★**福山シェフからのアドバイス**

肩ロースを焼き過ぎると固くなってしまいますので、完全に火が入る一歩前で止めておいて、熱々のジンジャーソースで仕上げると美味しくいただけます。ジンジャーソースは、温め過ぎるとわさびの風味が飛んでしまうので、沸騰したら火を止めて下さい。

認定情報

● **令和4年9月認定農場**

(有効期間：令和4年9月8日から5年9月末日まで)

北海道・ササキ S P F ファーム、(有)山中畜産長沼農場、同千歳農場、(有)浅野農場、(有)高橋畜産、(有)ゲズント農場繁殖センター、同肥育センター、**岩手県**・(有)ケイアイファウム北上農場、(農)八幡平ファーム、(農)ジョイフルファーム八幡平、**秋田県**・(有)ファームランド、(有)ポークランド第二農場、**茨城県**・常陽醗酵農法牧場(株)、(有)米川養豚場、山本ファーム鹿嶋、**栃木県**・サンエス大渡農場、(有)K & T コーポレーション、**群馬県**・(有)ほそや、**長野県**・(有)岩垂原エスピーエフ農場、(有)クリーンポーク豊丘農場、(農)エスピーエフこがねや第一農場、**千葉県**・豊橋飼料(株)種豚センター、(有)東海ファーム倉橋本農場、同猿田農場、同第1肥育農場、同第2肥育農場、(有)菅

※次回認定委員会は令和4年12月8日(木)の予定

井物産飯岡 S P F 農場、(有)下山農場第1農場、同飯岡農場、(株)スターピッグファーム肥育農場、**岡山県**・全農畜産サービス(株)岡山 A I センター、**鳥取県**・(株)西日本ジェイエイ畜産矢下繁殖農場、同上馬場肥育農場、同矢下肥育農場、**徳島県**・(株)七星食品阿波ファーム、同美波ファーム、**長崎県**・大西海ファーム七釜肥育農場、同白岳肥育農場、**大分県**・(有)九重ファーム、同第2農場、**宮崎県**・(株)ファームテックえびの種豚場、**鹿児島県**・(株)シムコ鶴田事業所、同阿久根事業所、(株)ファームテック大口農場、そお元気ファーム(株)野方農場、同持留農場、同久保崎農場、(有)新留養豚、同第二農場、高山大規模実験農場生産農場、同肥育農場、鹿児島いずみ畜産(株)江内農場 (以上52農場)

※6月の認定委員会において3か月間の認定期間延長が認められ、今回認定された農場

(有効期間：令和4年9月8日から5年6月末日まで)

千葉県・高橋幸雄養豚場繁殖農場、同肥育農場、(有)ピギー・ジョイ第1農場、**岡山県**・岡山 J A 畜産(株)荒戸山 S P F 農場

(以上4農場)



全農畜産サービス
株式会社
(東京都江東区)



全農畜産サービス(株)ブリーディング事業部の皆さん

素畜から防疫機器まで 優良な施設や資材を全国へ!

全農畜産サービス株式会社は1991年7月1日にJA全農グループの畜産施設・資材事業部門を担う専門会社として事業を開始しました。2004年2月にJA全農からの種豚事業移管等により、現在は資材事業、海外事業および種豚事業を通して、生産者と消費者を安心して結ぶ懸け橋となるよう、北海道から九州まで全国各地に農場、営業所および駐在を展開し、畜産生産者に優良な素畜・畜産資材を届けています。

資材事業では、先進的で高性能のICT機器である牛の分娩監視システム「モバイル牛恩恵」や牛の発情・体調管理を人工知能で解析するファームノートカラー、従来品よりも挿入するプローブが柔らかく母豚を傷つけないスペインのマガポール社製深部カテーテル「マガプラス」を畜産農家に提供し、畜舎建設資材販売にも取り組んでいます。

海外事業では、米国のGENEX社を中心とした長命・連産が可能な乳牛凍結精液、現地サプライヤーと協力した安心・安全な家畜、動物用ワクチン製造用のSPF卵および最新の畜産資材を輸入し、畜産農家の経営に寄与しています。

種豚事業では、全国5箇所の直営種豚場・AIセンターからなる直営農場部門(生産部)および本社・東北・九州を拠

点に活動する営業スタッフから構成される営業部門に分かれ、総勢では約140名となる大所帯となります。

JA全農グループが普及推進を行っている種豚ブランドは「ハイコープ種豚」です。直営GGP・GP農場(岩手県、秋田県および熊本県)で改良・増殖された雌系のランドレース種(ゼンノーL)と大ヨークシャー種(ゼンノーW)によるF1雌豚およびデュロック種の止め雄豚(ゼンノーD)は、事前に外部輸送車両全体を過酢酸「ピネパワー」で車両燻蒸し、場外中継地を利用した多段階の受渡により、輸送に起因する感染リスクを低減した上で、生産者へ輸送しています。豚熱ワクチン接種地域に種豚を輸送する場合は、積み下ろし時に使い捨て手袋、シューズカバーやつなぎ服を使用することや、規定された空車期間の遵守等の防疫レベルを厳しく設定して対応しています。

また、豚熱対策として直営農場に入場する際は、当社取扱過酢酸対応「除菌マット」での足裏除菌および過酢酸対応「オルサスミスト」で着衣の除菌を行ってから管理棟へ移動するマンフローを設け、社員および外来者の靴底や衣服からのウイルスや細菌のシャットアウトに努めています。(全農畜産サービス(株)ブリーディング事業部生産部・二階堂聡)

編集後記

新型コロナの第7波の感染力は凄まじいものです。保育園、幼稚園、学校、福祉施設、病院等でのクラスターの発生も毎日の様に報告されました。感染症の基本対策実行が叫ばれていますが、効果は100%ではないようです。封じ込めには何が足りないのでしょうか。養豚業界でも豚熱発生がほぼ毎月報告されてきましたが、そこで不思議に感じるのは、農場の異変の報告から豚熱確定までの期間、ワクチン接種農場における豚熱封じ込めのアクションはどうなっているのかということです。全頭殺処分するしかないのでしょうか。何か納得できない気分です。(世)



日本SPF豚協会認定農場産シール

このマークは
日本SPF豚協会の
登録商標です

日本SPF豚協会だより

第89号 2022年10月1日発行(季刊)
発行 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-2
TEL.03-5835-5375 FAX.03-5835-5376
e-mail:j.spf.a@nifty.com
http://www.j-spf.com/
発行人 北島 克好
編集人 藤田 世秀